



本校の支援センター一部では、市町村から障がい児保育巡回指導事業指導員の委嘱を受け、保育園や幼稚園等への巡回指導を実施しています。巡回指導では、実際に保育園や幼稚園に訪問し、対象児の様子を見ながら対応等について相談を行っています。

子どもの気になる行動には背景があり、理由があると考えられます。障がいの有無にかかわらず、気になる行動が見られる場合は、その行動を良く観察し、そこから原因や背景を推測してみることが大切です。そして困っている子どもの気持ちに寄り添った対応を工夫していくという視点で、保育士の皆さんと一緒によりよい支援の方向性を探っています。

こまったなあ…

相談事例の紹介

〈気になる行動〉
朝の会、帰りの会で落ち着いて座っていただけず、窓の側へ行き景色を見たり、保育室の後ろで横になったりしてしまう。

子どもが困っている原因を考え、支援の工夫を一緒に考えました。

原因として考えられること

- ・他の刺激（目に入ってくる物や耳に入ってくる音等）が気になり、落ち着かなくなる。
- ・他のことに興味がある。
- ・話の内容が分からない。

支援の工夫

- ・周りの余計な刺激を避け、他に注意が向かないように座席を工夫する。
- ・子どもが先生に注目していることを確認してから話す。
- ・話す内容を工夫する。(ex 短い文で説明する。絵や写真を見せながら話す。)

その結果・・・

朝の会や帰りの会に
落ち着いて参加できるようになりました！！

この他、心身の発達に関することや人とのかかわりに関すること、言葉の習得に関する事等、様々な相談があります。中には、原因や背景が分かり難い場合や支援の工夫をしてみても必ずしもうまくいかないこともあります。保育士の皆さんと一緒に悩みながら、日々の実践に取り組んでいます。

《盛岡青松支援学校 レインボー支援センター》 どうぞ お気軽にご連絡ください！

TEL 019-661-5125 ・ FAX 019-661-5170